

創立125周年学生企画

中大リレーマラソン — 学生記者体験記 — 力走するランナーにキャンパス華やぐ 88チームが5時間の走行距離を競う

リレーマラソンで、中央大学をジャックせよ!!。好天に恵まれた11月6日、多摩キャンパスが力走する大勢のランナーで華やいだ。創立125周年記念学生企画として行われた「中大リレーマラソン」(企画・運営・FLPスポーツ・健康科学プログラム河田弘道ゼミ)で、88チーム、総勢693名が参加、1周1.6kmのコースを5時間の制限時間で走る距離を競った。「Hakunonちゅうおう」チームも参加、何とか走りきったが、さて、その結果は…。学生記者が体験レポートする。

スタート時にたった一人

11月6日午前8時半。約束していた集合場所に集まったのは、なんと記者(望月)1人。「Hakunonちゅうおう」でエントリーしていた学生記者10名のうち、前日に5名から体調不良などで欠席、2名からは都合により遅刻するという連絡が入っていたが、当日朝になって残り2名か

らも遅刻するとの連絡が入った。いきなりのピンチだ。

仕方なく、記者1人で受付を済ませ、スタートに備える。他チームはテントを張ったり、シートを敷いたりと手慣れた様子だ。和やかに準備に取り掛かっているのがうらやましくみえる。

9時半、開会式。スタートに向け、会場のテンションも次第に上

がってくる。9時50分、第一走者が正門近くのスタートラインにつく。

「Hakunonちゅうおう」チームは、いまだ記者1人だが、同僚記者からの応援メールに励まされつつ、腹を括りスタートラインに立った。

10時、号砲とともにランナーが一齐に走り出す。チームメイトラの声を背に、正門から1号館に通じる上りの坂道を軽快に走る。

この日は天気にも恵まれ、雲一つない快晴。ランニングには絶好の天気に心も晴れやかで、記者の足取りも軽い。思い切り走りたい衝動を抑えつつ、マイペースでゆっくりと走ることを心掛ける。まだ交代ランナーが到着していないので、体力は温存しておかなければならない。

1周1.6km、きつい上り坂

1周1.6kmのコースは、多摩キャンパス内の車道を走るように設定されている。最初の坂道を登りきり、1号館の脇をすり抜けると、3号館を右手に見つつ走り、Cスクエア近くのロータリーで折り返す。その先に2号館と中央図書館裏の坂道が待ち構えている。距離は長くないが上り坂で、なかなかきつい難所だ。この坂を踏ん張って登りきり、ヒルトップと図書館の間をすり抜けるとベデ上に出る。

図書館をぐるりと回り、再び車道に出れば、あとは来た道を戻るだ

**最初の1周を終え、交代者なく、2周目へ**

つ、中継所を素通りし、2周目に入り、また坂道を駆け上がっていく。

普段は何気なく歩いているキャンパスだが、こうして走ってみると、改めて、自然に囲まれたキャンパスの豊かさや広さに気づく。そんな思いで走っていると、アップダウンが徐々に日頃、運動不足の身体に響いてくる。脇腹が痛くなってくるのを感じつつ、「みんなが来るまで諦めずに頑張ろう」と自分に言い聞かせ、走る。

交代ランナー不在で連続3周

2周目を走りきり、中継所に戻ってくる。さすがにもう誰か来ている

だろうと思いい、キョロキョロと辺りを見渡すが、チームメイトの姿はない。サポーターで駆けつけてくれた学生記者の1人に状況を聞くと、「まだ到着していない」との返事。愕然

とするが、仕方がない。予期しなかった3周目に突入していく。

3周目ともなると3km以上は走っており、身体も重く、かなりきつい途中、コース脇で見守るスタッフに「顔色が悪いけど大丈夫？」と声を掛けられたが、「大丈夫です」と返事をする。引きつった顔が自分でもわかる。今度こそ誰かが来ていることを祈りつつ、ゆっくりしたペースで進んでいく。

3周を走り終え、「もうダメだ」と、へとへとで中継所に戻ってくる。1人のチームメイトが到着していた。救われた思いで仲間間の学生記者に襷を託す。やっと「リレーマラソン」になつてきた。

一息つき、給水所で水分を補給する。中継所付近には、給水所の他に、特設ステージが設けられていた。参加者がリクエスとした音楽が流され、



「頑張って」と襷をつなぐ

会場の雰囲気盛り上げる。疲れた身体とへし折れそうな心には、こうした音楽が元気をくれるのだと実感する。

そうこうしているうちに、スタートしてから約1時間が経ち、「Hakumonちゅうおう」チームにも1人、2人と学生記者のランナーが到着。メンバーが交代で襷をつないでゆくと、周りを見渡す余裕もできてくる。

中間成績は88チーム中85位

陸上同好会などのスポーツ系



中継所に設置された給水所・救護班（白いテント）

サークルのチームが、優勝を狙ってガチンコで走っているかと思えば、他方、のんびりと走ることを楽しんでいるチームもある。また、年配の中大OBや、地域の小学生たちも頑張っている。老若男女がそれぞれのペースで走っているのを見ると、微笑ましくなる。

水分補給を済ませ、ストレッチをして後半戦に備える。だが、ここで2度目のピンチが訪れる。ここまでランナー4名で襷をつないでいたのだが、そのうち2名が事情で早退することになったのだ。あと1人の学生記者が到着する14時まで、2人交代で襷をつないでいかなければならな

特設ステージでは、ア

カベラサークル「Do it your voice」による演奏や、お笑い芸人によるライブが行われ、休息するランナーたちを楽しませていた。スタートから2時間半が経過した12時半、中間成績の発表があった。「Hakumon ちゅうおう」は出場88チーム中、下から4番目の85位。まあ健闘している方、だろうか？

昼時、疲れも出てくる中、簡単に栄養補給と

くなった。

リタイアするのは意地でも避けた。そこで相談して、とにかくゆくりと走することに重点を置くことに決める。この時間帯はかなりキツかった。やっこの思いで1周しても、休憩もそこそこに再び走り出さなくてはならない。

1周約12〜3分のペースで走って



Do it your voice のライブ

お互いに「いいペース、いいペース」と励ましつつ、約1時間に乗切り切る。14時、待っていた学生記者ランナーが到着。そのランナーに襷を託し、続けて2周走ってもらうことにした。その間にできる限り身体を休める。制限時間まで残りは約1時間、終盤の頑張り所だ。だが、身体のおちこちが痛み出す。ふくらはぎや腿など足はもちろんのこと、腹筋、背筋

いたのだろうか。不思議なもので何周も走っていると、身体が走るリズムをつかんでくる。少しペースを落として、流して走ろうなどとコツが分かってくるので、辛いながらも楽しさも出てくる。なにより天気が良いので、走っていて気持ちがいい。

終盤、全身が悲鳴上げる

お互いに「いいペー



1885 - 2010

創立125周年



腕、首、肩などあらゆる部分が悲鳴を上げ始める。

いよいよラストスパート。終了時間は15時で、14時55分には中継所が封鎖されてしまう。距離を稼ぐためには、それまでに交代を済ませなければならぬ。記者はギリギリのタイミングで交代し、最後の1周を走

り出す。この1周で長かった1日が終わると、ほっとする気持ちと、寂しい思いを抱えつつ、ボロボロの体をなだめすかして走る。

中継所がゴールとなっており、正門の坂道の頂上まで戻ってくると、終了のカウントダウンが始まっている。「10、9、8...」。あとは坂を下るだけだ。ここでゴールのテープを

軽快？に走る学生記者

切らなければ、最終成績にカウントされないため、最後の力を振り絞り懸命に走る。しかし、あえなく、ゴール数十メートル手前で終了の場合。残念ながらもう1周を付け加えることは叶わなかったが、チームメイトに迎えられるゴールした。表彰式・閉会式では、1位から8位ま



でのチームにデイズニーパスポートや食堂利用券などが贈られた。最後に大会を主催した河田ゼミ、ゼミ長の栗山政誠さん（商学部4年）らによる挨拶で、リレーマラソンは幕を閉じた。

最終成績は31周で78位

「Hakumon ちゅうおう」チーム（上田雄太Ⅱ文院1、望月繁樹Ⅱ文3、豊福三晃Ⅱ文2、中野由優季Ⅱ法1、山下緑Ⅱ総政1）の最終結果は、出場88チーム中78位。中間成績

より、順位を7つ上げた。周回数31周、走行距離49・6kmだった。ケガ人を出すこともなく、なんとか無事完走することができた。

何度かピンチに見舞われる過酷なレースだったが、終わってみれば非常に楽しい時間を過ごすことができた。「スポーツを通して中大を盛り上げる」という開催趣旨は十分達成されていた。来年以降も秋の中大恒例の行事として根付いていけば素晴らしいと思う。

（学生記者 望月繁樹Ⅱ文学部3年）

『Hakumon ちゅうおう』チームの完走賞

優勝は帝京大陸上競技部のチーム コースは「思った以上にきつかった」

優勝したのは、「TTT」。帝京大
学陸上競技部10名によるチームだ。
中大からのエントリーチームの優勝
とはならなかったが、本格派 チー
ムの活躍は大会を大いに盛り上げた。

「TTT」の記録は周回数57周、
最終タイム4時間59分36秒、走行距
離91・200km。1周(1.6km)を平均
5分30秒弱で走った計算になる。
帝京大近くの飲食店に貼られて



優勝した「TTT」チーム

いたポスターを見て、
中大リレーマラソン
の企画を知ったそう
で、「駅伝のような
ものができて、おも
しろそうだと思っ
た」とメンバーの坂
手亮介さん(帝京大
2年)。すぐに10名
が集まり、中長距離
が専門の部員とマ
ネージャーでチーム
を編成した。
レースを振り返り、

坂手さんは「思った以上にコースが
きつかった」と話す。多くの参加者
が「きつい」と話した中央図書館裏
の上り坂は、陸上の選手でも苦し
かったようだ。坂手さんのベストタ
イムは1周4分54秒。「4時間過ぎ
たあたりから精神的にもきつくなっ
て、チームも中だるみにはあつたけ

ど、ラストはみんな、力を出し切り
ました。」
優勝賞品のデイズニールゾートチ
ケットを手にし、坂手さんはチーム
のメンバーと一緒にデイズニール
ドを楽しむことを心待ちにしていた。
(学生記者 野崎みゆき 法学部3
年)

3年前から企画、難題乗り越え実現 主催した河田ゼミの栗山ゼミ長に聞く

大会終了後、大会を主催したFL
Pスポーツ・健康科学プログラムの
河田弘道ゼミのゼミ長、栗山政誠さ
ん(商学部4年)に話を聞いた。
河田ゼミでは、体育連盟の各部活
を紹介するカレンダーの作成などを
行い、中大スポーツの活性化を目標
に活動しており、その一環として、
「スポーツの力でもっと中大を盛り
上げようと今大会を企画した」とい
う。リレーマラソン大会の構想が持ち

上がったのは、3年前、栗山さんが
2年生の時だった。いろいろ検討し
たなかで、「走ることは運動の基本
動作で誰もができ、幅広く楽しめる
から」とマラソンを選んだ。
しかし、いきなり壁にぶつかった。
開催自体が不可能ということが判明
したのだ。大学の内規で、学生企画
として営業活動をすることが禁じら
れているため、スポンサーを集める
ことができなかったからだ。方法を



1885 - 2010

創立125周年



開会の挨拶をする栗山政誠さん

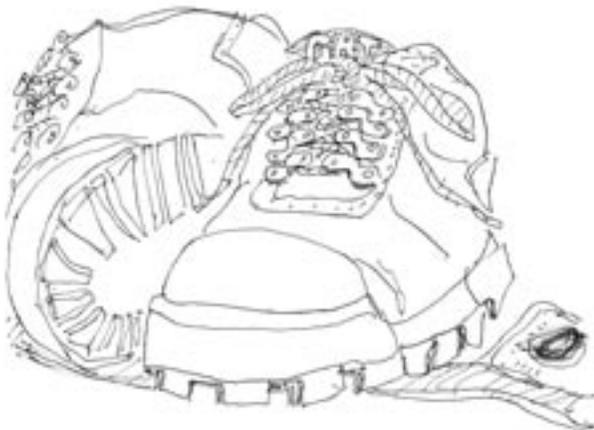
探った結果、創立125周年企画の一つとして開催することで、問題を乗り越えることができた。

ところが、いざ開催しようとしても「マラソン大会の運営の仕方がわからなかった」と栗山さん。そこで、ゼミ生は東京国際女子マラソンにボランティアスタッフとして参加。また、東京夢舞いマラソンにも運営ボランティアとして3年間毎年参加し、運営の具体的な方法を学んだ。

そんな努力の末に、ようやく大会開催にこぎつけただけに、無事に大会を終えることができ、栗山さんは「やっと終わった」と重責を負っていた肩を下ろした。閉会の挨拶では、「実現までに様々な苦悩や挫折があった。やめようと思ったこともあったが、今日皆さんが楽しんでる姿を見ることができて、本当に良かった。ランナー、ボランティア、関係者の皆さんに感謝したい」と涙

を見た。
大会が成功に終わり、学生の力が大きいことを見ることができた。と自負しているが、「このような企画は大学を盛り上げるために、大学が予算を組み、企画してくれたら、ありがたいです」と大学に一考を促した。

「この小さな大会がもっと大きな大会になって欲しい。夢は中大主催のフルマラソン大会ですね」と栗山さん。ただ、来年の開催は未定で、「大会を受け継いで欲しい」と後輩たちに期待を託した。
(学生記者 望月繁樹 文学部3年)



中央大学創立125周年記念企画 中大リレーマラソン 最終結果 種目：5時間リレー

順位	ナンバー	周回数(周)	最終タイム	走行距離(Km)	チーム名(参加人数)
1	28	57	04:59:36	91.200	TTT (10名)
2	29	56	04:58:48	89.600	あなたたちとは違うんです (8名)
3	44	51	04:59:45	81.600	トライアスロンチーム Afro@ (10名)
4	84	49	04:55:10	78.400	角煮同好会 (10名)
5	3	48	04:55:51	76.800	中央大学陸上競技同好会9z (8名)
6	50	48	04:59:41	76.800	井のズ動物公園 (6名)
7	31	47	04:56:44	75.200	きたさん近衛兵部隊 (8名)
8	14	46	04:58:17	73.600	CHUDAX (6名)
9	34	45	04:54:40	72.000	チーム★生命
10	57	45	04:55:29	72.000	日野市陸上競技会・日野JAC・大人チーム (8名)
11	43	45	04:59:16	72.000	ぶんやちんちん (10名)
12	88	45	04:59:49	72.000	チームはなちゃん (7名)
13	49	44	04:54:04	70.400	ワンダーフォーゲル (10名)
14	72	44	04:58:37	70.400	中大ライフセービングサークル (9名)
15	89	44	04:59:49	70.400	マッホイ選抜 (7名)
16	93	43	04:58:17	68.800	関東バズーカ組。ドッカア〜でござる (7名)
17	23	43	04:59:35	68.800	SNC31☆ (7名)
18	95	43	04:59:55	68.800	ハブズ (5名)
19	71	42	04:53:20	67.200	中央大学英吉利倶楽部 (10名)
20	1	42	04:53:29	67.200	Team
21	24	42	04:53:51	67.200	TEAM F (10名)
22	90	41	04:54:22	65.600	チームこいだら (10名)
23	46	41	04:54:37	65.600	ベベロンチーノ (8名)
24	56	41	04:55:43	65.600	中央大学生協 (10名)
25	85	41	04:56:01	65.600	テクノブレイク!! (9名)
26	13	41	04:57:03	65.600	Burkley (7名)
27	58	41	04:58:24	65.600	撫子ランナーズ〜涙として咲く花の如く〜 (10名)
28	69	41	04:58:37	65.600	村山貴紀とゆかいな仲間たち (8名)
29	79	40	04:52:25	64.000	Mets (10名)
30	94	40	04:54:22	64.000	不倒!Run-Run 将棋部☆ (10名)
31	86	40	04:54:59	64.000	ちーむ激アツ (10名)
32	60	40	04:56:16	64.000	ハッピーターン (10名)
33	16	40	04:56:27	64.000	No
34	63	39	04:52:32	62.400	りくどうマスターズ (10名)
35	12	39	04:52:41	62.400	Bamboo
36	75	39	04:54:12	62.400	Dと愉快な仲間たち (10名)
37	62	39	04:55:22	62.400	ラッキーストライク (10名)
38	51	39	04:57:45	62.400	宮園ゼミ (10名)
39	83	39	04:59:34	62.400	中央大学ゴルフ部 (9名)
40	91	39	04:59:40	62.400	チームおやじ (10名)
41	39	38	04:53:33	60.800	チーム古賀 (10名)
42	19	38	04:53:44	60.800	SF 研究会 (10名)
43	103	38	04:55:16	60.800	ZAP2 (10名)
44	20	38	04:55:40	60.800	SJK-A (7名)
45	77	38	04:55:47	60.800	河田ゼミ父母会 (10名)

順位	ナンバー	周回数(周)	最終タイム	走行距離(Km)	チーム名(参加人数)
46	53	38	04:59:58	60.800	折田ゼミ (10名)
47	33	37	04:53:22	59.200	チーム26 (10名)
48	21	37	04:53:28	59.200	SJK-B (8名)
49	15	37	04:53:32	59.200	FC.BONE (8名)
50	61	37	04:54:48	59.200	マリオ (10名)
51	82	37	04:55:28	59.200	Cat's (10名)
52	22	37	04:56:17	59.200	SJK-C (7名)
53	66	37	04:57:15	59.200	黄金世代 (5名)
54	7	37	04:58:42	59.200	CDGSK (8名)
55	25	36	04:52:09	57.600	TEAM
56	17	36	04:54:42	57.600	ZAP1 (10名)
57	6	36	04:54:44	57.600	BEATS (10名)
58	48	36	04:56:50	57.600	リアル海豚組 (8名)
59	105	36	04:56:51	57.600	チーム多摩研 (6名)
60	8	36	04:57:13	57.600	DQN48 (7名)
61	45	36	04:57:16	57.600	パパパパパパパパ (10名)
62	36	36	04:58:02	57.600	チーム こばべん (7名)
63	81	36	04:59:13	57.600	吉村ゼミ B (8名)
64	87	35	04:57:06	56.000	T-A-I 選抜 (10名)
65	70	35	04:57:58	56.000	但し、プサメンに限る。(7名)
66	42	34	04:52:02	54.400	林ゼミ 5期生 (10名)
67	80	34	04:53:21	54.400	吉村ゼミ A (9名)
68	47	34	04:54:22	54.400	ユースホステル研究会シニア駅伝班 (8名)
69	26	34	04:58:01	54.400	TEAM YK+4 (5名)
70	35	33	04:51:31	52.800	チーム K (6名)
71	38	33	04:54:35	52.800	チーム原!なんでやっ! (8名)
72	65	33	04:55:35	52.800	烏帽子 (8名)
73	64	33	04:56:43	52.800	垂紀とゆかいな仲間たち (10名)
74	73	32	04:52:20	51.200	白門41会 (10名)
75	11	32	04:57:06	51.200	METS
76	92	32	04:58:11	51.200	政老ランニングクラブ (9名)
77	18	32	04:58:22	51.200	We
78	96	31	04:50:50	49.600	Hakumon ちゅうおう (10名)
79	55	31	04:51:34	49.600	中央 CC 陸上部隊 (6名)
80	59	31	04:53:45	49.600	国立三浦千葉山岳会 (7名)
81	52	31	04:53:55	49.600	死守クーパー 韃靼 (7名)
82	68	31	04:54:37	49.600	松丸チーム (9名)
83	37	31	04:56:14	49.600	チーム コロボックル (8名)
84	10	31	04:56:41	49.600	METS
85	100	30	04:57:04	48.000	★よこ P ★ (6名)
86	104	24	04:37:43	38.400	ジャム (5名)
87	106	13	04:57:56	20.800	東京夢舞いマラソン (10名)
88	2	6	01:01:44	9.600	小池と不愉快な仲間たち (8名)